



地区内の防犯パトロールを行う防犯連絡員の皆さん(真壁町椎尾地区)

# 防犯は 鍵かけ 声かけ 心がけ

～ みんなでつくろう 安心のまち ～

## 桜川市の犯罪発生状況

平成24年中における茨城県内の犯罪発生件数は、平成14年をピークに10年連続で減少しています。桜川市においても、平成22年の658件をピークに、平成23年には471件、平成24年には340件と減少傾向にあります。

しかし、トラックなど乗り物の盗難は依然として多発傾向にあり、今年6月までの半年間で34件の盗難が発生しています。

## 防犯連絡員と防犯ボランティア団体

このような状況下、桜川市では、各地域の防犯連絡員と防犯ボランティア団体の皆さんが桜川警察署と連携して『みんなで作ろう 安心のまち』の実現に向け、防犯活動に取り組んでいます。

防犯連絡員は、各行政区長から推薦のあった377人の方に市が委嘱をして、毎月15日を目安として地域の防犯パトロールを行っています。併せて、道路などの危険個所の点検なども実施しています。また、防犯ボランティア団体は平成24年度までに、15団

体が誕生しています。主な活動内容は、登下校時の見守り活動や地域の防犯パトロールなどです。

## 犯罪被害に遭わないために

犯罪被害に遭わないためには、泥棒などが活動しにくい環境をつくるのが大切です。

例えば、玄関ドアの二重ロックや窓の補助錠をつけるなど、侵入抑止に効果的です。また、ハンドバックなどを車内に置いておくと、貴重品が入っていると恐れ、車上狙

いに遭いやすくなります。車から離れる際は、車内にバッグなどを置かないようにしましょう。

泥棒は、光や音を嫌います。センサーライトや防犯ブザー、また各家庭の玄関灯などを点灯させておく、「一戸一灯」運動などを実施し、犯罪の起こりにくい地域を目指しましょう。

■問合先／生活安全課（☎58-5111・75-3111、内線2283・2287）  
■犯罪に関する相談等／桜川警察署（☎0296-5510110）

警察官立会いの下、夏休みを前に「水遊び注意」の看板をため池に設置する防犯ボランティアの皆さん(池亀地区)

